

## プロジェクトアドベンチャー（P A）を活動プログラムに取り入れる場合の留意点

国立花山青少年自然の家では、集団の中で大切にしたい「人を信頼する心」を養い、自分自身と向き合いながら成長するために必要な葛藤や挑戦、達成感などを体感することができるP Aを活動プログラムとして提供しています。これまで多くの学校や団体が、花山での活動の中にP Aを取り入れ、個人やグループの成長に役立てていただいております。

### 1 P Aの教育効果を高めるために

花山の動プログラムとして実施する場合には、事前に「P A」の手法や効果を学習し、ご理解した上で活動をお願いいたします。花山での活動後は、日常の学校生活等の場においても継続して取り組んでいくことが、P Aの教育効果をより高めるものとなります。

### 2 講師を依頼する場合

① 利用日1ヶ月前に、利用申込書を提出いただく際に、講師依頼の欄に「P A講師依頼〇名」とご記入ください。安全管理上30名程度に1名のファシリテーターが必要です。

② 利用申込を受けて、活動場所確保・講師確保が済み、実施可能と判断した場合、利用団体に連絡します。こちらから「プロジェクトアドベンチャー（P A）講師依頼」と「P A活動計画案」をお送りいたします。ご記入いただき、速やかに返信をお願いいたします。

③ 講師が確保できた場合は、P Aを活動プログラムに取り入れることができますが、確保できなかった場合は、別のプログラムを検討していただきます。

※ 人数が多い団体（100人以上）や、同日の利用団体数が多いときは、活動場所が確保できないため、P Aを活動プログラムに取り入れることができない場合もあります。

③ 講師を依頼しますので、荒天時のみのプログラムにすることはできません。

⑤ 平成22年度10月より、講師への謝金が受益者負担となりました。

※講師1人1回当たり（3時間程度） 6,000円を負担していただきます。

### 3 P Aを活動プログラムとして実施する場合

① 利用団体が入所後、P Aの活動前に「P A活動計画案」をもとに、利用団体と講師との打ち合わせを行います。

② 利用団体の中に、P Aを指導できる方がいる場合は、指導者として一緒に活動していただくことも可能です。

③ P Aの指導中は、引率者も一緒に活動に入ったり、集団を見守ったりしていただきます。

④ P Aの活動終了後、利用団体で活動についての「ふりかえり」を行うとより効果的です。

※利用団体が講師依頼をせずに独自でP Aを指導する場合、活動に必要なP Aグッズの貸し出しや職員の立ち会いのもとでのエレメント使用も可能ですので、事前にご相談ください。